2012年（平成24年）8月13日（月曜日）
中日新聞

教科書外の楽しい数学

豊明高SPP事業

豊明市の豊明高校は、名古屋工業大と協力して「幾何学」をテーマにした数学の授業を同校などで行った。生徒らに教科書にとらわれない高度な数学を教えるのが狙いだ。

科学技術振興機構（埼玉県川口市）の「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」（SPP）と銘打った事業の一環で、同校が申請し、採択された。授業は夏休み期間を使った今月十日までの五日間で、一、二年生の希望者十三人が参加。名工大の平沢美可三准教授らが講師を務めた。

授業では、立方体や正十二面体など多面体を取り上げ、生徒らはイメージが湧くように多面体の模型作りなどに取り組んだ＝写真。

「数学の面白さ、幾何学の面白さを知ってもらいたい」と平沢准教授。二年の面田圭汰君（一六）は「高校の授業ではまったくやらない内容で面白かった。もっと知りたくなった」と目を輝かせた。

豊明高校は、名工大との連携授業を来年以降もSPPとして申請し、続けたい考えだ。